



1. 学科課程

学科専門教育科目

履修コード	授業科目 (クラス)	配当年次・開講期・単位数				担当者	備考	
		1年次以上履修可	2年次以上履修可	3年次以上履修可	4年次以上履修可			
		前通後	前通後	前通後	前通後			
共 通	1501 ベイシック・スピーキングI (Integrated)	②				ジョセフ・ラケット	☆	
	1502 (A)	②				メアリー・ヴァーヅル	☆	
	1503 (B)	②				ティモシー・フランクリ	☆	
	1504 (C)	②				スティーヴン・パロー	☆	
	1505 (D)	②				カレン・クライン・カタヤマ	☆	
	1506 (E)	②				デビッド・アンダーソン	☆	
	1507 (F)	②				ウィリアム・アンダーソン	☆	
	1508 (G)	②				フライアン・バーンズ	☆	
	1511 ベイシック・スピーキングII (Integrated)	②				ジョセフ・ラケット	☆	
	1512 (A)	②				メアリー・ヴァーヅル	☆	
	1513 (B)	②				ティモシー・フランクリ	☆	
	1514 (C)	②				スティーヴン・パロー	☆	
	1515 (D)	②				カレン・クライン・カタヤマ	☆	
	1516 (E)	②				デビッド・アンダーソン	☆	
	1517 (F)	②				ウィリアム・アンダーソン	☆	
	1518 (G)	②				フライアン・バーンズ	☆	
	英 語	1521 アカデミック・コミュニケーションI (Integrated)	②				ピーター・グレイ	☆
		1522 (A)	②				メアリー・ヴァーヅル	☆
1523 (B)		②				ティモシー・フランクリ	☆	
1524 (C)		②				スティーヴン・パロー	☆	
1525 (D)		②				カレン・クライン・カタヤマ	☆	
1526 (E)		②				デビッド・アンダーソン	☆	
1527 (F)		②				ウィリアム・アンダーソン	☆	
1528 (G)		②				フライアン・バーンズ	☆	
1531 アカデミック・コミュニケーションII (Integrated)		②		②		ピーター・グレイ	☆	
1532 (A)		②		②		メアリー・ヴァーヅル	☆	
科 目	1533 (B)	②		②		ティモシー・フランクリ	☆	
	1534 (C)	②		②		スティーヴン・パロー	☆	
	1535 (D)	②		②		カレン・クライン・カタヤマ	☆	
	1536 (E)	②		②		デビッド・アンダーソン	☆	
	1537 (F)	②		②		ウィリアム・アンダーソン	☆	
	1538 (G)	②		②		フライアン・バーンズ	☆	
	1041 イングリッシュ・ディスカッションI (A)			②		ピーター・リームスト	☆	
	1042 (B)			②		ブリックリン・ゼフ	☆	
	1043 (C)			②		マイケル・ハース	☆	
	1044 (D)			②		ブリックリン・ゼフ	☆	
1045 (E)			②		マイケル・ハース	☆		
1046 (F)			②		ピーター・リームスト	☆		
1047 (G)			②		ハリー・クリゲン	☆		
1048 (H)			②		ハリー・クリゲン	☆		
1051 イングリッシュ・ディスカッションII (A)				②	ピーター・リームスト	☆		
1052 (B)				②	ブリックリン・ゼフ	☆		
1053 (C)				②	マイケル・ハース	☆		
1054 (D)				②	ブリックリン・ゼフ	☆		
1055 (E)				②	マイケル・ハース	☆		
1056 (F)				②	ピーター・リームスト	☆		
1057 (G)				②	ハリー・クリゲン	☆		
1058 (H)				②	ハリー・クリゲン	☆		
1541 ベイシック・リーディングI (A)	②				マイケル・ハース	☆		
1542 (B)	②				デイビット・フレナー	☆		
1543 (C)	②				デビッド・アンダーソン	☆		
1544 (D)	②				デニス・クイン	☆		
1545 (E)	②				デイビット・フレナー	☆		

注 網かけのある科目は履修（人数）に制限があり、オリエンテーション時に事前登録が必要。

注 原則としてI、IIのように番号のある科目については、Iから連続して履修すること。

☆ネイティブ教員が英語で教える科目

履修コード	授業科目 (クラス)	配当年次・開講期・単位数				担当者	備考
		1年以上 履修可	2年以上 履修可	3年以上 履修可	4年以上 履修可		
		前通後	前通後	前通後	前通後		
共通 英語 科目	1551	バイシク・リーディングII(A)	②				マイケル・ハース ☆
	1552	(B)	②				デイビット・フレナー ☆
	1553	(C)	②				デビッド・アンダーソン ☆
	1554	(D)	②				デニス・クイン ☆
	1555	(E)	②				デイビット・フレナー ☆
	1111	アカデミック・リーディングI(A)		②			デニス・クイン ☆
	1112	(B)		②			アン・ミラー ☆
	1113	(C)		②			デイビット・フレナー ☆
	1114	(D)		②			デビッド・アンダーソン ☆
	1115	(E)		②			マイケル・ハース ☆
	1131	アカデミック・リーディングII(A)			②		デニス・クイン ☆
	1132	(B)			②		アン・ミラー ☆
	1133	(C)			②		デイビット・フレナー ☆
	1134	(D)			②		デビッド・アンダーソン ☆
	1135	(E)			②		マイケル・ハース ☆
	1561	バイシク・コンポジションI(A)	②				ピーター・リームスト ☆
	1562	(B)	②				アラン・ボゼア ☆
	1563	(C)	②				ダイアナ・シュガーマン ☆
	1564	(D)	②				ハリー・クリゲン ☆
	1565	(E)	②				スティーヴン・パロー ☆
	1571	バイシク・コンポジションII(A)		②			ピーター・リームスト ☆
	1572	(B)		②			アラン・ボゼア ☆
	1573	(C)		②			ダイアナ・シュガーマン ☆
	1574	(D)		②			ハリー・クリゲン ☆
	1575	(E)		②			スティーヴン・パロー ☆
	1581	アカデミック・エッセイI(A)			②		スティーヴン・パロー ☆
	1582	(B)			②		ハリー・クリゲン ☆
	1583	(C)			②		ピーター・リームスト ☆
1584	(D)			②		ケンレイ・フリーゼン ☆	
1585	(E)			②		ピーター・グレイ ☆	
1591	アカデミック・エッセイII(A)				②	スティーヴン・パロー ☆	
1592	(B)				②	ハリー・クリゲン ☆	
1593	(C)				②	ピーター・リームスト ☆	
1594	(D)				②	ケンレイ・フリーゼン ☆	
1595	(E)				②	ピーター・グレイ ☆	
1177	英文法クリニック(A)		②			高橋 克 依 1年次クラス	
1178	(a)		②			高橋 克 依 再履修クラス	
共通 専門	1191	基礎演習I(A)	②				斎藤 彩世
	1192	(B)	②				島田 桂子
	1193	(C)	②				江口 均枝
	1194	(D)	②				中地 美枝
	1195	(E)	②				長谷川 典子
	1196	(F)	②				高野 照司
	1197	(G)	②				柳町 智治
	1198	(H)	②				湊 史郎
	1201	基礎演習II(A)			②		江口 均枝
	1202	(B)			②		中地 美枝
	1203	(C)			②		湊 史郎
	1204	(D)			②		高野 照司
	1205	(E)			②		柳町 智治
	1206	(F)			②		斎藤 彩世
1207	(G)			②		島田 桂子	
科目	1602	イギリス文化概論	2				島田 桂子
	1641	アメリカ文化概論	2				斎藤 彩世
	1606	演劇概論	2				高橋 克 依 ☆
	1642	英語学概論	2				ジョセフ・ラケット ☆
	1643	応用言語学概論	2	2			柳町 智治
	1644	英語教育学概論	2				湊 史郎
	1614	社会言語学概論	2				高野 照司
	1616	異文化コミュニケーション概論I	2				長谷川 典子
	異文化コミュニケーション概論II	2					2019年度開講せず

注 原則としてI、IIのように番号のある科目については、Iから連続して履修すること。

☆ネイティブ教員が英語で教える科目

	履修コード	授業科目 (クラス)	配当年次・開講期・単位数				担当者	備考
			1年次以上 履修可	2年次以上 履修可	3年次以上 履修可	4年次以上 履修可		
			前通後	前通後	前通後	前通後		
共通専門科目		海外短期英語研修(A)		4			江口均	2019年度開講せず 2019年度開講せず 2019年度開講せず ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆
		(B)		4			江口均	
		(C)		4				
		海外短期研修(A)		2			大島寿美子	
		(B)			2			
		(C)		2			江口均	
		(D)		2				
	1651	欧米文化特講A			2		カソ・クイン・カヤマ	
	1652	欧米文化特講B				2	カソ・クイン・カヤマ	
	1653	日本文化特講A			2		デイビット・フレナー	
1654	日本文化特講B			2		宮澤照恵		
1645	キリスト教と文学			2		ブルース・デビッドソン		
1655	英米史A			2		ウィリアム・グリーン		
1656	英米史B				2	ウィリアム・グリーン		
コ 言 語 文 化 専 門 科 目	1751	イギリス文学史A			2		齋藤彩世	このコースに所属する者は4単位を修得すること
	1752	イギリス文学史B				2	齋藤彩世	
	1753	アメリカ文学史A			2		上西哲雄	
	1754	アメリカ文学史B				2	上西哲雄	
	1771	イギリス小説研究A			2		島田桂子	
	1772	イギリス小説研究B				2	藤田佳也	
	1773	アメリカ小説研究A			2		松井美穂	
	1774	アメリカ小説研究B			2		瀬名波栄潤	
	1761	英米詩研究A			2		藤田佳也	
	1762	英米詩研究B				2	松田寿一	
	1763	演劇研究A			2		高橋克依	
	1764	演劇研究B				2	高橋克依	
	1765	イギリス文化研究A			2		ウィリアム・グリーン ☆	
	1766	イギリス文化研究B				2	ウィリアム・グリーン ☆	
	1767	アメリカ文化研究A			2		上西哲雄	
	1768	アメリカ文化研究B				2	松井美穂	
	1301	専門演習I			②		島田桂子	
	1302				②		齋藤彩世	
	1304				②		ピーター・グレイ ☆	
	1305				②		高橋克依	
	1311	専門演習II				②	島田桂子	
	1312					②	齋藤彩世	
	1314					②	ピーター・グレイ ☆	
	1315					②	高橋克依	
	1321	専門演習III				②	島田桂子	
	1322					②	齋藤彩世	
	1324					②	ピーター・グレイ ☆	
1325					②	高橋克依		
1331	専門演習IV				②	島田桂子		
1332					②	齋藤彩世		
1334					②	ピーター・グレイ ☆		
1335					②	高橋克依		
1361	卒業研究I				②	島田桂子		
1362					②	齋藤彩世		
1364					②	ピーター・グレイ ☆		
1365					②	高橋克依		
1371	卒業研究II				④	島田桂子		
1372					④	齋藤彩世		
1374					④	ピーター・グレイ ☆		
1375					④	高橋克依		

注 網かけのある科目は履修（人数）に制限があり、オリエンテーション時に事前登録が必要。

注 原則としてI、IIのように番号のある科目については、Iから連続して履修すること。

注 「海外短期英語研修(A)(B)(C)」及び「海外短期研修(A)(B)(C)(D)」の履修登録は、参加申込をもって代える。海外研修の参加とそれに伴う課題提出により単位修得ができる。ただし、海外短期英語研修(A)及び海外短期研修(A)(B)クラスは、事前調査を行い履修希望者が少ない場合は開講しない。

☆ネイティブ教員が英語で教える科目

履修 コード	授 業 科 目 (クラス)	配当年次・開講期・単位数				担 当 者	備 考
		1年次以上 履修可	2年次以上 履修可	3年次以上 履修可	4年次以上 履修可		
		前通後	前通後	前通後	前通後		
1851	言 語 学			2	2	奥 聡	
1852	英 語 学 史			2		園 田 勝 英	
1853	英 語 学 研 究 A			2		柳 町 智 治	
1854	英 語 学 研 究 B			2		高 野 照 司	
1855	英 語 学 研 究 C			2		奥 聡	
1856	英 語 学 研 究 D			2		高 野 照 司	
1861	コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 研 究 A			2		ジョエル・ライアン	☆
1862	コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 研 究 B			2		ジョエル・ライアン	☆
1863	コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 研 究 C			2		湊 史 郎	
1864	コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 研 究 D			2		湊 史 郎	
1866	異文化コミュニケーション研究A			2		青 木 デボラ	☆
1867	異文化コミュニケーション研究B			2		青 木 デボラ	☆
1871	英 語 メ デ ィ ア 研 究 A			2		大 島 寿美子	
1872	英 語 メ デ ィ ア 研 究 B			2		大 島 寿美子	
1873	英 語 メ デ ィ ア 研 究 C			2		中 地 美 枝	
1874	英 語 メ デ ィ ア 研 究 D			2		中 地 美 枝	
1875	英 語 メ デ ィ ア 研 究 E			2		デニス・クイン	☆
1876	英 語 メ デ ィ ア 研 究 F			2		デニス・クイン	☆
1401	専 門 演 習 I			②		長谷川 典子	
1402				②		柳 町 智 治	
1403				②		高 野 照 司	
1404				②		ジョセフ・ラケット	☆
1405				②		江 口 均	
1406				②		中 地 美 枝	
1407				②		ロバート・トムソン	☆
1411	専 門 演 習 II			②		長谷川 典子	
1412				②		柳 町 智 治	
1413				②		高 野 照 司	
1414				②		ジョセフ・ラケット	☆
1415				②		江 口 均	
1416				②		中 地 美 枝	
1417				②		ロバート・トムソン	☆
1421	専 門 演 習 III			②		長谷川 典子	
1422				②		柳 町 智 治	
1423				②		高 野 照 司	
1424				②		ジョセフ・ラケット	☆
1425				②		江 口 均	
1426				②		中 地 美 枝	
1427				②		ロバート・トムソン	☆
1431	専 門 演 習 IV			②		長谷川 典子	
1432				②		柳 町 智 治	
1433				②		高 野 照 司	
1434				②		ジョセフ・ラケット	☆
1435				②		江 口 均	
1436				②		中 地 美 枝	
1437				②		ロバート・トムソン	☆
1461	卒 業 研 究 I			②		長谷川 典子	
1462				②		柳 町 智 治	
1463				②		高 野 照 司	
1464				②		ジョセフ・ラケット	☆
1465				②		江 口 均	
1466				②		中 地 美 枝	
1467				②		ロバート・トムソン	☆
1472	卒 業 研 究 II			④		長谷川 典子	2019年度開講せず
1473				④		柳 町 智 治	
1474				④		高 野 照 司	
1475				④		ジョセフ・ラケット	☆
1476				④		江 口 均	
1477				④		中 地 美 枝	
						ロバート・トムソン	☆

注 網かけのある科目は履修（人数）に制限があり、オリエンテーション時に事前登録が必要。

注 原則としてⅠ、Ⅱのように番号のある科目については、Ⅰから連続して履修すること。

☆ネイティブ教員が英語で教える科目

	履修コード	授業科目 (クラス)	配当年次・開講期・単位数				担当者	備考
			1年以上 履修可	2年以上 履修可	3年以上 履修可	4年以上 履修可		
			前通後	前通後	前通後	前通後		
英 語 実 技 科 目	1071	イングリッシュ・ディベート I			2		ジョセフ・ラケット	☆
	1076	イングリッシュ・ディベート II				2	ジョセフ・ラケット	☆
	1901	クリエイティブ・ライティング I (A)			2		ケンレイ・フリーゼン	☆
	1919	(B)			2		ケンレイ・フリーゼン	☆
	1902	クリエイティブ・ライティング II (A)				2	ケンレイ・フリーゼン	☆
	1920	(B)				2	ケンレイ・フリーゼン	☆
	1903	パブリック・スピーキング (A)		2			ジョセフ・ラケット	☆
	1904	(B)		2			アン・ミラー	☆
	1906	プレゼンテーション・スキルズ (A)			2		ジョセフ・ラケット	☆
	1907	(B)			2		アン・ミラー	☆
	1908	通訳法 I (文)		2			加藤和代	
	1909	通訳法 II (文)			2		加藤和代	
	1910	通訳法 III				2	加藤和代	通訳法 I, II を修得していること
	1911	通訳法 IV				2	加藤和代	通訳法 I, II を修得していること
	1985	通訳法 A I		2			斎藤彩世	
	1986	通訳法 B I		2			ロバート・トムソン	☆
	1987	通訳法 A II			2		斎藤彩世	
	1988	通訳法 B II			2		ロバート・トムソン	☆
	1917	通訳法 III				2	後藤健治	通訳法 I, II を修得していること
	1918	通訳法 IV				2	後藤健治	通訳法 I, II を修得していること
	1921	オーラル・インタープリテーション I (A)		2			ピーター・グレイ	☆
	1922	(B)		2			アン・ミラー	☆
	1923	オーラル・インタープリテーション II (A)			2		ピーター・グレイ	☆
	1924	(B)			2		アン・ミラー	☆
1991	英語ワークショップ A			2		デイビット・フレナー	☆	
1992	英語ワークショップ B				2	デイビット・フレナー	☆	
1993	英語ワークショップ C			2		デニス・クイン	☆	
1994	英語ワークショップ D				2	デニス・クイン	☆	
1995	英語ワークショップ E			2		グレゴリー・ウィラー	☆	
1996	英語ワークショップ F				2	グレゴリー・ウィラー	☆	
言 語 教 育 科 目	1942	英語教育学講座	2				江口均	隔年開講 2019年度開講
	1947	英語教育学演習 A (児童英語教育)				2	メアリー・ヴァーヅ	☆
	1948	英語教育学演習 B (授業実践論)				2	西原明希	
	1975	日本語教授法 I		2			岡田みさを	日本語教授法 I, II 双方修得すること
	1976	日本語教授法 II			2		岡田みさを	
	1977	日本語教授法 III			2		岡田みさを	日本語教授法 I, II を修得していること
	1981	ジャパニーズ・リテラチャー (A)			3		デイビット・フレナー	☆
	1982	(B)				3	デイビット・フレナー	☆
		ジャパニーズ・カルチャー (A)				3	延与由美子	
	1984	(B)				3	延与由美子	

注 網かけのある科目は履修（人数）に制限があり、オリエンテーション時に事前登録が必要。

注 原則として I, II のように番号のある科目については、I から連続して履修すること。

注 教職課程を履修する者は、英語科教育法 I（3 年次前期）の履修までに英語教育概論または英語教育学講座のいずれか 1 科目を修得済みであることが望ましい。

注 ジャパニーズ・リテラチャーは国際交流関係科目の日本の文学〔国際〕と、ジャパニーズ・カルチャーは国際交流関係科目の日本の文化〔国際〕と同じ授業である。ジャパニーズ・リテラチャーを履修する者又は修得した者は国際交流関係科目の日本の文学〔国際〕を、ジャパニーズ・カルチャーを履修する者又は修得した者は国際交流関係科目の日本の文化〔国際〕を履修できない。

☆ネイティブ教員が英語で教える科目



2. 卒業に必要な単位

1. 大学共通科目

39～50ページを参照のこと。

(A) 大学共通科目¹

大学共通科目は、人間科学、人文科学と人間、自然・科学技術・人間、社会と人間、地域と文化、宗教と文化、演習科目、総合講義、キャリア教育関連科目、外国語からなる。

- (1) 人間科学
この分野から2単位以上を修得すること。
 - (2) 人文科学と人間
この分野から2単位以上を修得すること。
 - (3) 自然・科学技術・人間
この分野から2単位以上を修得すること。
 - (4) 社会と人間
この分野から2単位以上を修得すること。
 - (5) 地域と文化
この分野から2単位以上を修得すること。
 - (6) 宗教と文化
キリスト教文化及び諸宗教文化の各分野から1科目2単位、計2科目4単位以上を修得すること。
 - (7) 演習科目
修得すべき単位数に定めはないので、必要に応じて履修すること。
 - (8) 総合講義
修得すべき単位数に定めはないので、必要に応じて履修すること。
 - (9) キャリア教育関連科目
キャリア教育の分野から、職業と人生Ⅰ1科目2単位を修得すること。日本語科目分野から、日本語表現Ⅰ1科目2単位及び日本語表現Ⅱ1科目2単位を修得すること。情報科目分野から、情報入門1科目2単位、及び情報活用Ⅰ又は情報活用Ⅱのいずれか1科目2単位をあわせた、計2科目4単位を修得すること。なお、これらの科目は1年次に修得することを原則とする。また、情報活用ⅠとⅡの重複履修はできない。
ハードウェア基礎及びソフトウェア基礎の履修は、情報入門及び情報活用Ⅰ又は情報活用Ⅱの2科目4単位の修得を条件とする。
 - (10) 外国語
 - 1 ドイツ語Ⅰ～Ⅳ、フランス語Ⅰ～Ⅳ、中国語Ⅰ～Ⅳ、韓国語Ⅰ～Ⅳのいずれか4科目8単位を修得すること。
 - 2 検定により認定される。詳細は「[外国語科目の単位認定²](#)」の頁を参照すること。
 - 3 自分が選択した言語8単位修得後、3年次以降に別の言語を履修することもできる。
- (11) (1)～(10)までの上記で修得すべき単位32単位以外に6単位以上を修得すること。

2. 外国語科目の単位認定

201・202ページを参照のこと。

(B) 学科専門教育科目

言語文化コース専攻、言語コミュニケーションコース専攻とも、下記の要領で履修し合計80単位以上を修得しなければならない。

- (1) 『共通英語科目』から必修30単位を修得すること。
- (2) 『共通専門科目』は、必修の基礎演習Ⅰ・Ⅱ2科目4単位に加えて概論科目から10単位を修得すること。
- (3) 『コース専門科目(所属コース)』
各自が所属するコースから必修14単位を含め30単位を修得すること。
なお、言語文化コースに所属する者は、イギリス文学史A・B、アメリカ文学史A・Bから2科目4単位を修得すること。ただし、教員の不在等により、コースを変更した場合はこの限りではない。
- (4) 上記で修得していない『共通英語科目』『共通専門科目』『コース専門科目』の科目の中から『英語実技科目』『言語教育科目』の中から、6単位を修得すること。

- (5) 2年次の終わりに、3年次から所属する専門演習への振り分けを行う。4年次において専門演習を変更することは原則として認めない。
- (6) 原則としてⅠ、Ⅱ（Ⅲ、Ⅳ）のように通し番号のある科目についてはⅠから連続して履修すること。特段の事情のある者は学科長又は、科目担当者に相談すること。
- (7) 海外短期英語研修(A)(B)(C)及び海外短期研修(A)(B)(C)(D)の履修登録は、参加申込みをもって代える。海外研修の参加とそれに伴う課題提出により単位修得ができる。ただし、海外短期英語研修(A)および海外短期研修(A)(B)クラスは、事前調査を行い履修希望者が少ない場合は開講しない。
- (8) ベイシック・スピーキングⅠ・Ⅱ及びアカデミック・コミュニケーションⅠ・Ⅱについては、週に2回の授業を受けなければならない。
- (9) 「3. スクリーニング」には、3年次以上の専門教育科目及び教職に関する科目の履修に必要な基礎条件が記載されているので、必ず確認すること。

(C) その他

- (1) 『大学共通科目』及び『共通英語科目』『共通専門科目』『コース専門科目(所属コース)』『英語実技科目』『言語教育科目』で修得すべき単位118単位外に必要な14単位は、上記の修得すべき単位118単位として修得した授業科目以外の大学共通科目、学科専門教育科目、文学部他学科専門教育科目、他学部他学科専門教育科目及び国際交流関係科目¹から算入できる。
- (2) ただし、他学部他学科専門教育科目及び国際交流関係科目から算入できるのは8単位までである。なお、卒業単位計算上、修得した科目の単位数を分割して算入することができる。
- (3) 他学科専門教育科目は53～62ページに掲載されている科目のみ、履修登録することができる。
- (4) 副専攻科目²については、副専攻課程の履修を許可された場合には、修得した科目は全て、卒業単位の総単位に算入できる科目となる。
- (5) この(A)(B)(C)のことについて、「(D)卒業単位表」に分かりやすく表で示してあるので参照のこと。

- 1. 文学部他学科専門教育科目、他学部他学科専門教育科目及び国際交流関係科目
51～62ページを参照のこと。
- 2. 副専攻科目
219～227ページを参照のこと。



(D) 卒業単位表 (卒業に必要な最低単位数)

		単 位 数				
		必 修	選 択			
大 学 共 通 科 目	人 間 科 学		2 単位	} 6 単位	}	
	人 文 科 学 と 人 間		2 単位			
	自 然 ・ 科 学 技 術 ・ 人 間		2 単位			
	社 会 と 人 間		2 単位			
	地 域 と 文 化		2 単位			
	宗 教 と 文 化	キ リ ス ト 教 文 化				2 単位
		諸 宗 教 文 化				2 単位
	演 習 科 目					
	綜 合 講 義					
	キ ャ リ ア 教 育 関 連 科 目	キ ャ リ ア 教 育	2 単位			
		日 本 語 科 目	4 単位			
情 報 科 目		2 単位	2 単位			
外 国 語		8 単位				
計		8 単位	24 単位	6 単位	} (注1) 14 単位	
学 科 専 門 教 育 科 目	共 通 英 語 科 目	30 単位		} (注2) 6 単位		
	共 通 専 門 科 目	概 論 科 目	10 単位			
		コ ー ス 専 門 科 目 (所 属 コ ー ス) ※	14 単位			16 単位
	英 語 実 技 科 目					
	言 語 教 育 科 目					
計		48 単位	26 単位	6 単位		
学 部 他 学 科 専 門 教 育 科 目						
他 学 部 他 学 科 専 門 教 育 科 目						
国 際 交 流 関 係 科 目						
副 専 攻 科 目						
計		56 単位	50 単位	12 単位	14 単位	
合 計		132 単位			132 単位	

大学共通計

38 単位

専門教育計

80 単位

※言語文化コース選択者は、コース専門科目（選択16単位分）中に「イギリス文学史A」「イギリス文学史B」「アメリカ文学史A」

「アメリカ文学史B」のいずれか2科目4単位を含むこと。

(注1) この14単位に、「他学部他学科専門教育科目」「国際交流関係科目」から算入できるのは8単位までである。

(注2) この6単位に、所属外コース専門科目を含む。



3. スクリーニング

(3年次以上の専門教育科目及び教職に関する科目の履修に必要な基礎条件)

2年次終了までに、下記の条件を満たしていないときは、3年次以上に配当された専門教育科目及び教職に関する科目の履修はできない(大学共通科目及び下記で履修を認められた専門教育科目は履修することができる)。

次の(1), (2), (3), (4)を含み50単位以上を修得していること。

- (1) 基礎演習Ⅰ, 英文法クリニックの4単位
- (2) ドイツ語Ⅰ・Ⅱ, フランス語Ⅰ・Ⅱ, 中国語Ⅰ・Ⅱ, 韓国語Ⅰ・Ⅱのいずれか2科目の4単位
- (3) ベイシック・スピーキングⅠ・Ⅱ, ベイシック・リーディングⅠ・Ⅱ及びベイシック・コンポジションⅠ・Ⅱの12単位
- (4) 上記の(1), (2), (3)の他, ドイツ語Ⅲ・Ⅳ又はフランス語Ⅲ・Ⅳ又は中国語Ⅲ・Ⅳ又は韓国語Ⅲ・Ⅳ, アカデミック・コミュニケーションⅠ・Ⅱ, アカデミック・リーディングⅠ・Ⅱ及びアカデミック・エッセイⅠ・Ⅱ, 基礎演習Ⅱ計9科目のうち, 6科目以上修得していなければならない(ただし5科目修得した者はコース専門科目を除く3年次専門教育科目を履修することができる)。